

学期	月	単元・章	時数	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1		第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色	17	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解させる。 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
		第4部 第1章 大航海によって結びつく世界 第2章 戦乱から全国統一へ	8	ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 【ICT】	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)世界の動きと統一事業、(イ)江戸幕府の成立と対外関係、(ウ)産業の発達と町人文化、(エ)幕府の政治の展開までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。【ICT】	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		第3章 武士による支配の完成 第4章 天下泰平の世の中 第5章 社会の変化と幕府の対策	13	江戸時代の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。【ICT】	近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。【ICT】	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
		第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方	6	・地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。	・自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察し、表現している。	九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追究している。
		第2節 中国・四国地方	6	地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。	他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。	中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究している。
2		第3章 日本の諸地域 第3節 近畿地方	6	地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察し表現している。	自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。
		第4節 中部地方	6	さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、さまざまな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察し表現している。	産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。
		第5節 関東地方	7	関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。	関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追究している。

	第6節 東北地方	6	地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。	東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それにもなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察・表現している。	東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。
3	第3章 日本の諸地域 第7節 北海道地方	6	地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。	産業や開発の歴史に関する特色あることさらに注目して、自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察し表現している。	自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心を持ち、北海道地方の特色を主体的に追究している。
	第4章 第1節 欧米諸国における「近代化」 第2節 開国と幕府の終わり 第3節 「近代化」の始まり 第4節 近代国家への歩み	16	欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。【ICT】	工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、(イ)明治維新と近代国家の形成、(ウ)議会政治の始まりと国際社会との関わり、(エ)近代産業の発展と近代文化の形成までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。【ICT】	近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第5節 帝国主義と日本 第6節 アジアの強国の光と影	8	我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。【ICT】	近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。【ICT】	近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
評定 【300%(3観点の合計)÷3=100%】		知識・技能(100%)		思考・判断・表現(100%)	主体的に学習に取り組む態度(100%)
評価方法		定期考査：50%程度 提出物の内容：50%程度		定期考査：50%程度 提出物の内容：50%程度	定期考査：20%程度 提出物の内容：80%程度